

# MH2008 国際水素エネルギー会議に参加

## 西条市の取り組みを世界各国の研究者が高評価

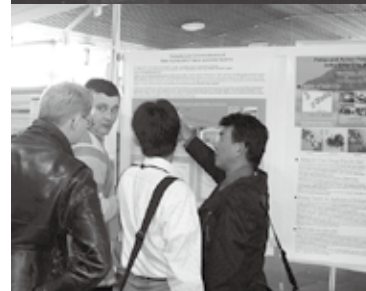
去る6月24日～28日の間、アイスランドの首都レイキャビクで開催された「MH2008国際水素エネルギー会議」(MH2008)に西条市が参加し、MH冷凍システムを活用した研究開発など、西条市の取り組みについて発表しました。

■問合せ 市庁舎本館産業振興課 産学官連携係  
TEL0897-52-1220

MH2008は、水素に関する研究を通してエネルギーと地球環境に貢献するため、2年に1回開催されている最も権威のある国際シンポジウムの一つであり、行政機関が発表することは極めて異例のことです。

今回、西条市が発表を行うこととなったのは、太陽光発電を契機とした新エネ・省エネのまちづくりの推進、東海大学理事・副学長の内田裕久教授のご指導によるMH冷凍システムを活用した研究開発、イチゴ栽培実験など、西条市の取り組みを内田教授に推薦いただき、これらの取り組みが世界的にも一定の評価を受けたからです。

会議では、世界各国から500人を超える研究者が会場のアイスランド大



▲MH冷凍システムなど、西条市で取り組んでいる研究開発などについて発表する東海大学の内田裕久教授。

◀西条市のポスターセッションにおいて、職員から説明を受ける研究者。

【MH冷凍システムとは】 特定の温度条件で水素を吸排出する合金の化学反応を利用して冷熱を取得するシステム。フロンガスを使用せず、二酸化炭素の排出量も低いため、低環境負荷が実現できます。

学に集まり、14の専門分野に分かれて118件のプレゼンテーション(研究発表)を基に積極的な議論が交わされたほか、392件のポスターセッション(ポスターによる展示・発表)も行われました。

27日に行われたプレゼンテーションでは、内田教授がMH冷凍システムを中心とした西条市での取り組みを紹介し、約160人の研究者が見学に訪れました。西条市のポスターセッションでは、見学に訪れた研究者が「素晴らしい実証である」と、ほかの研究者を連れてくる例が多くあり、約70人の研究者に対して積極的な説明を行うことができました。

また、在アイスランド日本国大使館を表敬訪問し、夏目勝弘大使にMH2008への参加を報告しました。

夏目大使からは「外務省だけでなく地方都市独自の国際貢献は大きな意義がある。大使館としてもできる限りの協力は惜しみません」との力強い激励をいただきました。

今後は、MH2008に参加して明確になった課題のクリアに努め、MH冷凍システムの早期実用化をめざして試験・研究を行ってまいります。

### ■ポスターを展示しています

西条市のポスターセッションで使用した展示物を、8月末まで産業情報支援センターで展示しています。

文部科学省・人間文化研究機構  
連携研究「人と水」関連事業

## 「人と水」シンポジウムを開催します

21世紀は“水の世紀”と言われているように、水は一番大切な資源としてとらえられています。

地球規模やアジアの現状、そして西条の水問題について市民の皆さんと一緒に学ぶ『「人と水」シンポジウム』を開催します。

■問合せ 市庁舎別館環境課 TEL0897-52-1382

開催日：9月15日(月)

場 所：総合文化会館小ホール

テーマ：水のつながりを考える

～ふるさと西条のおいしい水を、未来へ～

内 容：講演会、パネルディスカッション

※詳しくは、市のホームページ、9月号の広報紙でお知らせします。